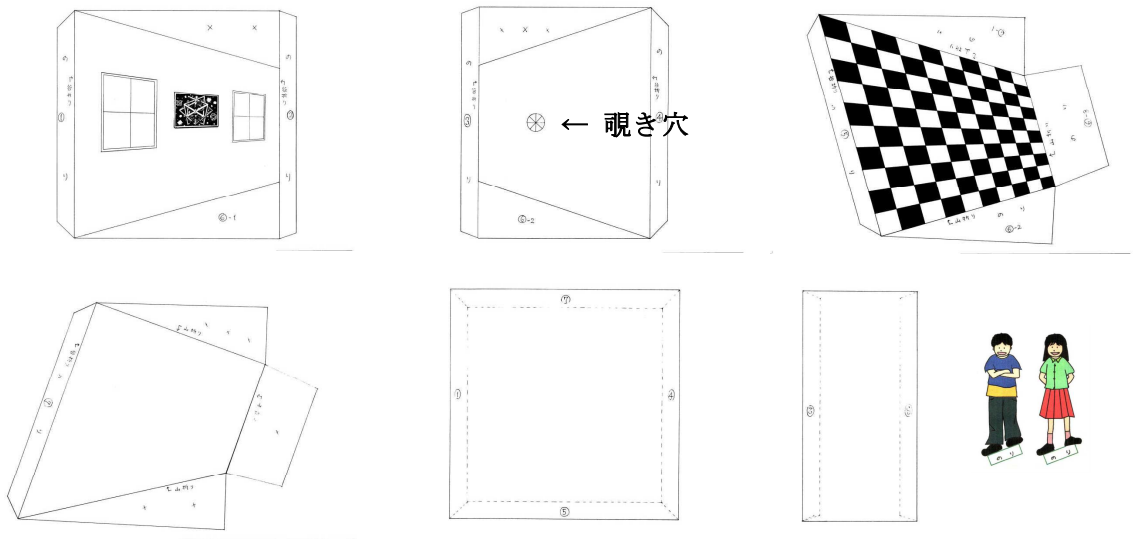


## 「ふしぎな目の錯覚 エイズの部屋を作ろう」

「エイズの部屋」は、1950年頃にエイズという人が考えた奇妙な部屋です。壁の穴から中を覗くと、同じ大きさのはずの人物が違って見えるという目の錯覚をおこします。このエイズの部屋のミニチュアを工作して、その仕組みを考えてみましょう。

### <作り方>

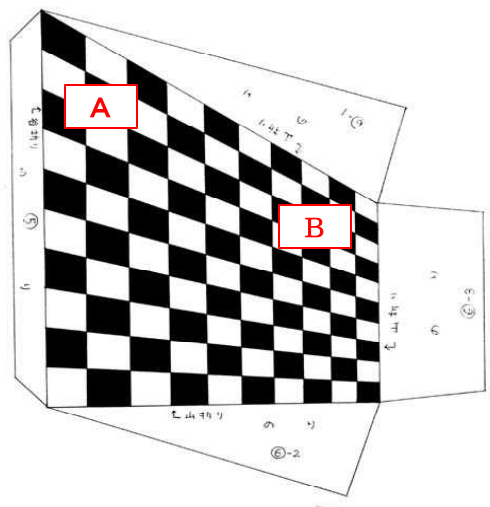
(1) 型紙6枚を切り抜き、折り目をつけます。(覗き穴を切り抜くのを忘れずに)



(2) 型紙の「のりしろ」を番号①から⑦まで、番号順に貼り合わせます。  
(同じ番号どおしの番号のある面にのりをつけて貼り合わせる)

(3) 男の子と女の子の型紙を切り抜き、  
右図(床)のA、Bの位置に貼ります。

(4) 天上を閉じて、覗き穴から見てみよう。  
(天井は山折りした折り目を箱の中に  
差し込むようにして端を固定します)



### <お願い>

この型紙及びファイルを無断で複写・転載  
することはご遠慮下さい。